

2020(令和2)年度 (第三十五期)

事業報告書

自 2020年4月 1日
至 2021年3月31日

学校法人コア学園

I 法人の概要

1. 建学時の精神（教育基本方針）

実践・実務教育

資格取得や技術を習得して、社会貢献できるための「実践・実務教育」を行い、プロフェッショナル(理論と応用及び実践力を備えた職業人)を育成していきます。

個育成教育

個々人の創造性・独創性や、持っている能力を最大限引き出すための「個育成教育」を行い、クリエイティブ(創造性・独創性)で、何事にも積極的に取り組む人材を育成していきます。

全人教育

専門知識で裏打ちされた豊かな人間性を育成するための「全人教育」を行い、ヒューマニティ(幅広い専門知識に裏打ちされた豊かな感受性)に満ちた人材を育成していきます。

2. 沿革

<秋田経理学校時代>

- 昭和40年10月 秋田経理学校 設立認可
- 昭和41年 4月 本科 第1期生入学
- 昭和41年 9月 学校法人認可（学校法人秋田経理学校）
- 昭和51年 4月 専門学校認可（秋田経理専門学校）

<コア学園が秋田市茨島に秋田コンピュータ専門学校開校>

- 昭和61年 9月 学校法人認可（初代理事長 山本明氏） 秋田コンピュータ専門学校認可
- 昭和62年 2月 校舎竣工 落成式挙行
- 昭和62年 4月 開校(2年制 情報システム工学科/OAビジネス科) 校長に鎌田芳郎氏就任
- 平成63年 4月 SE専攻科(3年制)新設
- 平成元年 3月 第一回卒業式挙行 同窓会発足
- 平成 3年 4月 秋田経理学校が学校法人秋田経理情報学園秋田経理情報専門学校と改称
- 平成 7年 2月 文部科学省より修了者に専門士称号の付与認定
- 平成 7年 4月 第2代理事長に種村良平氏就任
- 平成 8年 4月 OAビジネス科より経理ビジネス科に学科名変更
- 平成12年 4月 メディアビジネス科(2年制)新設
- 平成14年 4月 校長に小玉孝一氏就任

<法人合併により秋田経理情報専門学校(茨島キャンパス・中通キャンパス)へ>

- 平成15年 4月 学校法人コア学園(秋田コンピュータ専門学校)と学校法人秋田経理情報学園(秋田経理情報専門学校)が合併し、学校法人コア学園秋田経理情報専門学校となる。(茨島キャンパス：経理科、中通キャンパス：SE専攻科/情報システム科/デジタルクリエイター科) 校長に小玉孝一氏就任
- 平成16年 2月 合併前の2校の同窓会が発足。第1回同窓会総会開催
- 平成16年 4月 校長に伊勢日出男氏就任
- 平成16年 4月 ビジネスIT科(現 ビジネスキャリア科情報ビジネスコース 2年制)新設
- 平成17年 4月 観光ビジネス科(現 ホテル・ブライダル科 2年制)新設
- 平成20年 4月 第3代理事長に児玉隆次氏就任
- 経理科経理OAコースよりコンピュータ会計科(2年制)に名称変更
- メディカルライセンス科(現 医療事務科 2年制)新設
- 平成22年 6月 校長に市田和夫氏就任
- 平成22年10月 放送大学と連携協力覚書調印
- 平成23年 4月 放送大学とのダブルスクール開始

- 平成25年 4月 秋田リハビリテーション学院 学校開設準備室設置
- 平成26年 4月 秋田経理情報専門学校 中通キャンパス校舎改修、キャンパス統合に伴い学科再編
(高度ITエンジニア科/情報システム科 アプリ開発コース、Web・CGデザインコース/ビジネスキャリア科 経理ビジネスコース、情報ビジネスコース/医療事務科/ホテル・ブライダル科)
- 平成26年12月 秋田リハビリテーション学院 校舎改修工事竣工
- 平成27年 2月 秋田経理情報専門学校 職業実践専門課程に4学科認定 (高度ITエンジニア科/情報システム科 アプリ開発コース・Web・CGデザインコース/医療事務科/ホテル・ブライダル科)
- 秋田リハビリテーション学院 校舎お披露目会、落成式、祝賀会
- 平成27年 3月 秋田リハビリテーション学院 放送大学と連携協力覚書調印
- 秋田リハビリテーション学院 理学療法士養成施設指定、専門学校認可
- <秋田リハビリテーション学院開校により二校体制へ>
- 平成27年 4月 秋田リハビリテーション学院開校 学院長に吉崎克明氏就任
秋田経理情報専門学校より「秋田コア ビジネスカレッジ」に校名変更
- 平成28年 2月 秋田コア ビジネスカレッジ 職業実践専門課程に1学科追加認定 (ビジネスキャリア科 経理ビジネスコース、情報ビジネスコース)これにより全学科が認定
秋田リハビリテーション学院 文部科学省より修了者に高度専門士の称号と大学院入学資格付与
- 平成28年 4月 秋田コア ビジネスカレッジ校長に小野巧氏就任
- 平成29年11月 学校法人コア学園創立30周年記念式典 挙行
- 平成30年 4月 第4代理事長に神山恵美子氏就任
- 平成31年 3月 秋田リハビリテーション学院 第1期生卒業
- 平成31年 4月 秋田コア ビジネスカレッジ 学科・コース再編
情報システム科アプリ開発コース(2年制)を情報システム科IT・アプリコースに名称変更
高度ITエンジニア科(3年制)を高度職業実践科ITスペシャリストコースに名称変更
高度職業実践科Web・CGクリエイターコース(3年制)新設
- 令和2年 4月 秋田コア ビジネスカレッジ 学科・コース再編
ビジネスキャリア科 経理ビジネスコース・情報ビジネスコース (2年制)をビジネスマネジメント科に名称変更
ホテル・ブライダル科(2年制)をホスピタリティマネジメント科ホテル・ブライダルコースに名称変更
ホスピタリティマネジメント科国際実践コース(3年制)新設

3. 役員の概要

理事9名、監事2名、評議員19名

4. 設置する学校・学科等

(1) 秋田コア ビジネスカレッジ 所在地：秋田市中通五丁目4番12号

(知事認可・文部科学大臣認定職業実践専門課程認定・修了時専門士称号付与)

○工業分野

高度職業実践科	昼間部 3年制	ITスペシャリストコース／Web・CGクリエイターコース
情報システム科	昼間部 2年制	IT・アプリコース／Web・CGデザインコース

○商業実務分野

ビジネスマネジメント科	昼間部 2年制
医療事務科	昼間部 2年制

ホスピタリティマネジメント科 昼間部2年制 ホテル・ブライダルコース
// 昼間部3年制 国際実践コース

(2) 秋田リハビリテーション学院 所在地：秋田市茨島一丁目4番80号
(知事認可・厚生労働省指定理学療法士養成校・修了時高度専門士称号付与)

○医療分野

理学療法学科 昼間部4年制

II 秋田コア ビジネスカレッジ

1 教育理念等

①教育理念

1. 誠実な人材の育成

時代が変化する中でも、職業人として「誠実な」生き方ができる人材の育成をしていきます。

2. 誠実な教育の実践

時代や学生の要求する知識・技術が習得できるように誠実な教育を実践していきます。

3. 誠実な学校

学校が、地域社会の一構成組織体として、社会に範たる存在となることを目指していきます。

②教育目標

1. 自主性・創造性に富み、専門的な知識や技術の習得に励む心豊かな人材を育成する。

2. 高い職業意識を培い、実践的な専門職として勤労意欲に満ち、地域に貢献できる人材を育成する。

③重点目標

1. 主体性を育む教育方法を確立し、高度な資格検定の取得者を輩出する。

2. 習得した知識や技術を社会で応用できる実践的な職業教育を行う。

3. 業界や地域社会と連携を図りながら、県内就職を推進する。

④入学者受入方針（アドミッションポリシー）

1. 夢や目標を持ち、実現のため自ら積極的に学ぶ意志がある

2. 専門技術を身に付け、地域や社会に貢献したいと考えている

3. 人間性が豊かで心身ともに健康である

⑤教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

1. カリキュラムの基本構成は基礎科目、専門科目、実践科目で教育課程を編成し、講義、実習、演習を効果的に組み合わせた教育を行う

2. 産学連携を推進し、実践・実務教育の充実を図る。ボランティア、インターンシップ、留学制度等を充実し、学生が地域社会において学びを応用できる教育

を行う

⑥卒業認定方針（ディプロマポリシー）

1. 専門分野における知識・技術を習得し、それらに裏打ちされた豊かな人間性を身に付けていること
2. 時代の変化に対応し、主体的に学び実践し続ける力を身に付けていること

⑦スローガン 「Jump now!」（今をジャンプする）

1. どこにジャンプするのか（目標地点を決め、努力する方向性を定める）
2. どのようなジャンプ力をつけるのか（いかなる能力と方法で努力するのか）
3. ジャンプ後どうなるのか（職業人としていかに活躍し、豊かな人生を送るのか）

2 学科の定員及び学生数の状況（2020年5月1日現在）

学 科 名	入学定員	収容定員	学生数
高度職業実践科	10	30	18
情報システム科	30	60	39
ビジネスマネジメント科	30	60	19
医療事務科	30	60	34
ホスピタリティマネジメント科	30	70	25
合 計	130	280	135

3 主な教育活動実績

①令和2年度秋田県即戦力人材育成支援事業2件採択(計6,680千円)

1. 産学連携によるSociety5.0に向けた人材育成と実践的な職業教育による県内就職への取り組み
2. 秋田県内企業において国際的視野に立ちインバウンド対応できるホテリエ育成カリキュラムの作成と県内就職・起業支援への取り組み

②令和2年度秋田県医療秘書養成支援事業採択(1,058千円)

③専門学校生対象 Spring & Summer 2020 Tシャツデザインコンテスト最優秀賞（販売実績1位）、最優秀学校賞受賞

④第58回技能五輪全国大会（11/13～16、愛知県）ウェブデザイン職種2名出場（5年連続秋田県代表）

第15回若年者ものづくり競技大会（7/29～30、広島県）中止

⑤ETロボコン（ETソフトウェアデザインロボットコンテスト）2020チャンピオンシップ大会(全国大会)初出場(第10位)、東北地区大会総合2位

⑥県産業労働政策課デジタルイノベーション戦略室との連携（ICT人材確保・育成に関するワーキンググループ、全4回）

⑦日本医師会医療秘書認定試験初受験（全員合格）

⑧教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会開催(6/18、10/28)

4 進路実績

学 科 名	卒業生数	就職希望	内定者数	内定率
高度職業実践科	3	1	1	100%
情報システム科	11	9	9	100%
ビジネスマネジメント科	8	8	8	100%
医療事務科	17	16	16	100%
ホスピタリティマネジメント科	10	9	9	100%
合 計	49	43	43	100%

III 秋田リハビリテーション学院

1 教育理念等

①教育理念

豊かな教養及び高度な専門知識と技術を身に付け、知的・倫理的な行動、判断及びコミュニケーション能力を発揮して、保健・医療・福祉分野において持続的で健康的な文化の進展に寄与し、地域社会に貢献できる人材を育成する。

②教育目的

全人教育のもと、対象者一人ひとりを尊重した高度なリハビリテーションの実践を可能とし、絶えず持続的な向上心を持って対象者の生活の質を高められる理学療法士として地域社会と共に歩める人材の育成を目的とする。

③教育目標

1. 生活の質を向上したいという対象者の意欲を湧き起こさせる豊かな人間性と倫理性を涵養する。
2. 医療に携わる上で必要な医学・医療に関する知識と理学療法技術を修得する。
3. 医療現場において課題を発見し、適切な解決策を講じることのできる問題解決能力及び判断力と実行力を備える。
4. 対象者を中心とした「チーム医療」に一役を担える協調性を涵養する。
5. 情報技術を活用し、国際的視野に立って地域医療に貢献できる能力を備える。

④入学者受入方針（アドミッションポリシー）

1. 保健・医療・福祉・スポーツ領域の専門職を志す動機や意欲を有する。
2. 高度専門士の教育を受けるにふさわしい基礎的学習能力を有する。
3. 真理・真実を探究する意欲があり、謙虚で豊かな感性を有する。
4. 他の多くの職種との連携やチームワークに必要な協調性を有する。
5. 外国語によるコミュニケーションにも積極的な姿勢を有する。

⑤教育課程編成方針（カリキュラムポリシー）

1. 基礎教育、専門基礎教育及び専門教育に分類するが、お互いに深い関連性を持たせる。
2. 人間形成に資する基礎教育を専門教育の必要性に応じてカリキュラムの中で各

年次に楔状に導入する。

3. 専門基礎教育を充分理解した上で、専門家として自立できるようにするために専門知識と技術の段階的な積み上げ方式を導入する。
4. 対象者の個人と生活を最大限に尊重し、対象者とその家族及び在宅医療に関わる一員として保健医療関連職種と円滑な連携活動ができる素養を身に付けるための教育を導入する。

⑥卒業認定方針（ディプロマポリシー）

1. 幅広い教養を礎として形成された人間性、倫理性及び協調性を身に付けている。
2. 対象者やその家族の真のニーズを理解し、誠実に支援することができる。
3. 理学療法士としての優れた専門知識と高度な技術を修得し、深い洞察力による情報の統合と適確な判断によって、適切な理学療法を行うことができる。
4. チーム医療及び地域医療において、臨機応変に理学療法を行うことができる。
5. 所定の単位の取得によって理学療法士国家試験受験資格を得ている。

2 学科の定員及び学生数の状況（令和元年5月1日現在）

学 科 名	入学定員	収容定員	学生数
理学療法学科	40	160	148

3 主な教育活動実績

- ①第3期生卒業（26名）
- ②臨床実習指導者会議（11/27、オンライン開催）

4 理学療法士国家資格取得実績及び進路実績

学 科 名	卒業生数	国家資格 合格者数	合格率	内定者数	内定率
理学療法学科	26	23	88.5%	23	100%